

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
そなえる…用意する、そろえる、用心する
防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
そなえ…したく、用意。警戒。防犯。
備品。設備。備蓄。備具。備考。備忘。
そなわる…準備ができる、身に付く
●●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!

6^{no.}

かわさき 防災広報紙

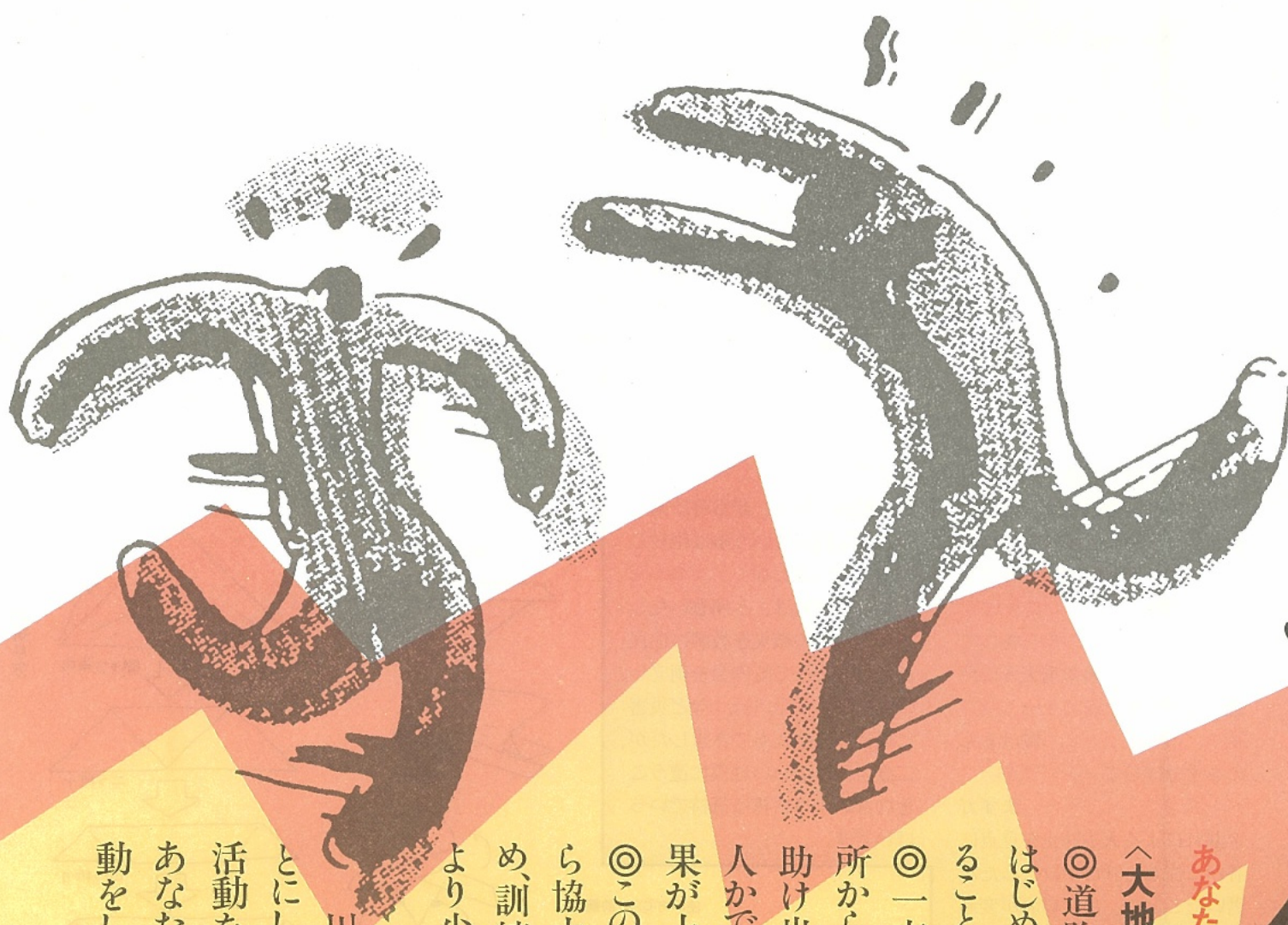
昭和60年1月1日発行
編集・発行：
川崎市土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841



年 新 賀 謹

●あけましておめでとうございませす。
昨年11月16日、東京・世田谷区内で起きた通信ケーブル火災は、瞬時にして、110番、119番を含むすべての電話を不通にしました。そして、銀行のオンライン停止などによって、わたしたちの市民生活に大きな混乱を招きました。大災害時なみの復旧活動にもかかわらず、回復には相当の期間が必要とされました。
いつ襲ってくるかわからない「大地震」の被害は、通信施設の被害にとどまらず、道路、水道など防災活動に欠かせない施設から、電気、ガスなどさまざまな施設までに、しかも広い地域に相当の期間及びびます。そのような状況の下では、負傷者の応急手当、火災の消火をはじめとして、市民一人ひとりがみんなで「大地震」に立ち向かっていく必要があります。
そのためには、一人ひとりが、ふだんから地震に備えることが大切です。しかも、被害が大きくなればなるほど、ひとりの力だけでは不十分です。となり近所や地域の人たちが、消火活動などあらゆる面で、お互いに助け合い、協力し合うことが必要となります。このような活動を、地域で組織的かつ効果的に行えるように、ふだんから地域で協力して防災訓練などの活動を行っておくことが、地震の被害を最小限にとどめることとなります。一人ひとりの備えと地域の協力―それが防災にはぜひとも必要なことです。

みんなど、備える。



あなたの町にも、「自主防災組織」を

「大地震」のとき―。

◎道路などの被害によって、消防車の出動をはじめとして、市は、すぐに十分な活動をすることができません。

◎一方、わが家に被害がなくとも、となり近所から火が出れば消火をし、けが人がいたら助け出さないわけにはいきません。しかも何人かで協力して行動すれば、より安全で効果が上がります。

◎このような地域の協力をもとに、ふだんから協力体制をつくり、それぞれの役割を決め、訓練を重ねることによって、地域の被害をより少なくすることができるようになります。

川崎市では町内会や自治会などをもとにしてつくられた「自主防災組織」が防災活動を行うための助成を行っております。あなたの町でも、ぜひ「自主防災組織」の活動をしてみましょう。

すぐに、備える。

大地震の揺れがおさまっても、それからが防災の正念場です。

- ① 出火の危険や近所で火災はなにか確認する。もし火が出たら、消火器などを使って、協力して初期消火をする。
- ② けが人がいたら助け出し、応急手当をする。
- ③ 倒れやすくなった建物などのそばや、がけの近くなど危険な場所に近寄らない。

- ④ 大地震のあと、かなり大きな余震が起こる場合があります。
- ⑤ 火災やけが人などの情報をすばやく伝える。
- ⑥ ラジオ、テレビなどから正しい情報を聞いて、デマによる混乱の発生に注意する。
- ⑦ 大火災が発生したときや避難の指示があったときは、すみやかに避難する。

混乱が一段落しても、復旧には相当の時間がかかります。

- ⑧ 炊き出しや給食、救援物資などの配分を秩序正しく、協力して行う。
- ⑨ 衛生に注意する。



み音に、生きた気もせず、長い長い十数秒でした。

やっとおさまり、外にいるわが子の安否をたしかめるためガラス、食器の破損の山をよけて外に出てみると、私の友人に抱きかかえられて浄化槽の上に真青になり、恐怖におびえてうずくまっておりました。浄化槽の周りは70センチくらい陥没して土煙が立ちのぼり、あらためて地震の恐怖が湧き上がる思いでした。子供の無事を確めると、今度



78宮城県沖地震・木造家屋の倒壊

んでしたので、集会室と近所の小学校の体育館に分散してその夜を過ごすことにしましたが、余震の恐怖が残りまんじりともできませんでした。翌朝明るくなるのを待ってそれぞれ片付けに帰りましたが、あまりのひどさにどこから手を付けてよいやら戸惑いながらも気を取り直して後片付けをしました。

高層集合住宅の欠点として、諸設備を共有している関係上それが壊れると、全戸が一斉に何も使用できなくなって、生活が成り立たなくなります。水一つとっても14階までバケツで運んだり、排水管の破損により使用した水をまた階下まで運んでこななければなりません。また、排せつ物が一番の悩みです。近所のガソリンスタンドや5分程先の駅に行ったりするのは、昼間はまだまだし夜は大変なことでした。その後余震のたびに子供達は怖え、吐気を催したり恐怖と疲労で流産をした主婦も出たほどです。

まだまだ書き足りませんが、本当に地震を体験しまして、それまで安易に考えていた私の愚さを初めて知り、非常時に備えてこれで良いという事は絶対といって良いほどなく、日頃の備えをしなければ、と痛感いたしました。この被災を教訓に住民達も立ち上って町内会を創出し、防災訓練も活発に行うなど災害に備える気構えもできましたが、二度とあの恐い地震に遭うことのないように祈る気持ちでいっぱいです。

そんな時、非常階段を上階の人々が、泣き叫びながら下りて来ました。ある人は頭をおさえ、顔をおさえ、足をひきずり、血まみれの子供を抱きかかえ、泣き声と叫び声と鉄の非常階段の音が入りまじり、異様というよりパニック状態だったのです。

私は当時マンションの管理組合(自主組織)の理事長をしていましたので、事の重大さに戸惑いながらも負傷者を一か所に集め、応急手当をし、働けるものを手分けして二次災害を防ぐべく活動に入りました。まずガス漏れによる火災防止を重点に各戸に注意を呼びかけましたが、驚いたことに、出入口扉が変形して開閉不能になり逃げおくれた人がおり、火でも出たらどうなったことかとあらためてぞっとしました。幸い死亡者はなくほっとしましたが、救急車を要請しても県下一円の被害のためすぐには来てくれません。交通、通信、ガス、電気等すべての機能が停止してしまい、自力で処置をしなければならず、住民防災組織の重要性をあらためて痛感しました。

重傷者2名軽傷者30名の手当もままならぬうちに暗くなってきました。各戸の室内は足の踏み場もないほど家具は倒れ、ガラスが飛び散っており、室内で休むことは地震時の恐怖と余震の恐れを伴い、とてもできませ

どれひとつとつても一人だけの力では困難でも、地域で協力すれば可能となります。

そのためには、ふだんから地域で、協力と信頼をもとに、防災の活動のための組織(自主防災組織)をつくり、活動しておくことが大切です。

★応急手当...レッスン⑥ 救急のときの包帯の知識

- ① 傷に当てた保護ガーゼがずれないように。
 - ② 骨折・脱臼・ねんざなどのときの固定に。
 - ③ きつく巻いて、止血をします。
- *保護ガーゼ(きずのおおい)は、どんな包帯のときでも、出血防止(止血)・血液や分泌物の吸収(きずの清潔感感染防止)・きずの安静(苦痛の軽減)を考え、適当な大きさと厚みのあるものにしていきましょう。

便利な三角巾

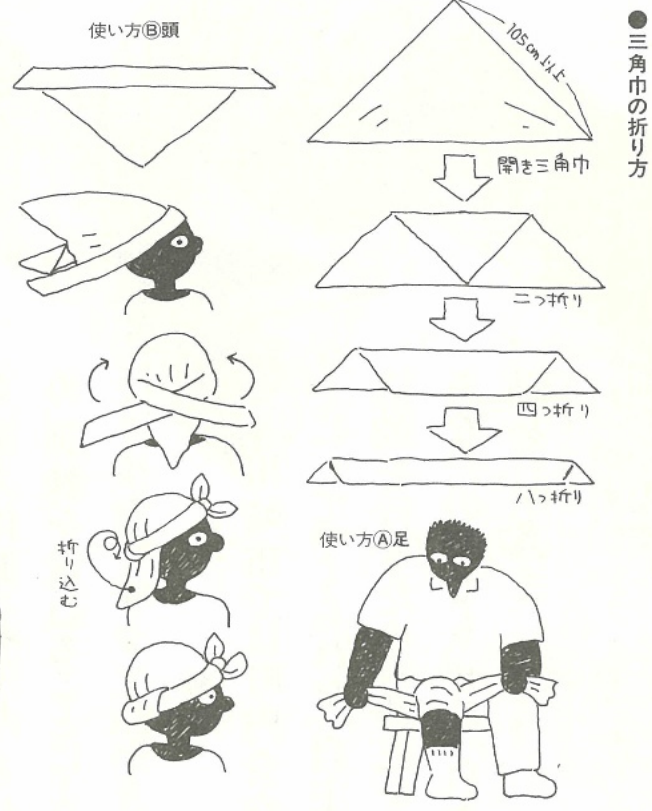
三角巾はつとより早く広い傷をおったり、病人の体を固定したり、腕を吊ったりできます。

便利で、しかも、使い方が簡単です。

緊急の場合には、風呂敷でも代用できます。

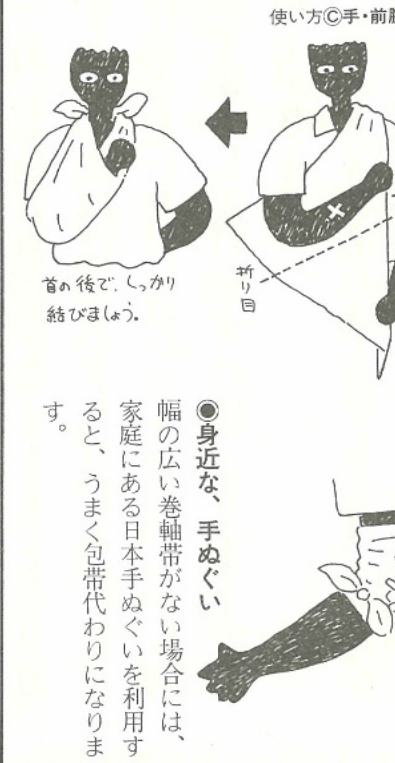
よく利用される巻軸帯

巻軸帯は、ふつう、包帯と呼ばれているものです。どの包帯も同じですが、巻軸帯を巻くときはゆるすぎないように巻くのが大切です。この点、「伸縮性包帯」はすぐれた包帯といえます。



バンテリーストッキングは万能包帯

バンテリーストッキングの伸縮性を利用して、包帯代わりにしたり、包帯押さえにすると、なれない人でも簡単に手当をすることが出来ます。体によくなじむのでずれ落ちる心配がなく、ふつうの包帯や三角巾などよりかさばらず使いやすいので、どんな箇所にも使うことができます。



体験記 その6

震度5

78宮城県沖地震体験記集から(仙台市提供)

アクセサリ販売業 篠崎有宏さん

震度5 十数秒

昭和53年6月12日午後5時を少しすぎたころ、グラグラと私の住むマンション(分譲式、14階建、戸数190戸、居住者約600名)102号室を揺さぶりました。その時は近代建築は少しぐらいの地震にはびくともしないと安心していました。そのとおりなにごともなくおさまり、ほっとしていた時です。今度はグラときたかと思うとガクガクという感じでぐらつきだしましたので、慌てて立ち上がろうとしましたが、立つこともできず柱にしがみつきました。鉄筋コンクリートのギリギリといいますが、なんともいえぬ音とともに家具、電化製品が倒れ、ガラスが飛び散り、柱の陰でその震動のおさまるのを恐怖のうちに待ちました。ひよっとしたら倒壊するのでは、と思うほどの震れととき